

10 コネクター種別

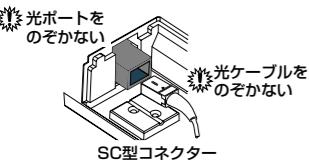


図 9 コネクター種別

11 推奨ケーブル

10BASE-T : カテゴリー3以上のUTPケーブル
100BASE-TX : カテゴリー5以上のUTPケーブル
100Mbps光インターフェース :
ITU-T G.652 適用シングルモード光ケーブル

石英(μm)	波長(nm)	伝送特性	
コア	クラッド	伝送損失(dB/km)	伝送帯域
9.5	125	1310	0.5 dB/km以下

12 製品仕様

準拠規格	
IEEE802.3 10BASE-T	
IEEE802.3u 100BASE-TX	
100BASE-FX(PMDを除く)	
光ポート	
波長	1310nm(送信) 1530nm(受信)
送信光レベル	-0dBm ~ -5dBm
受信光レベル	-3dBm ~ -31dBm
電源部	
定格入力電圧	AC100~120V
入力電圧範囲	AC90~132V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	0.5A
最大入力電流 (実測値)	0.14A (AC90V)
平均消費電力	6.1W (最大 6.8W)
平均発熱量	5.2kcal/h (最大 5.8kcal/h)
環境条件	
動作時温度	-5 ~ 40°C
動作時湿度	80%以下(ただし、結露なきこと)
保管時温度	-20 ~ 60°C
保管時湿度	95%以下(ただし、結露なきこと)
外形寸法(突起部含まず)	128(W) × 137(D) × 36(H)mm
重量	約 230g (ACアダプターを含まず)
適合規格	VCCI クラス B

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

13 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、弊社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中止、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

14 ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、別紙の「調査依頼書(AT-1313)」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。電話による直接の問い合わせは、できるだけ遠慮ください。FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。

記入内容の詳細については、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

○ アライドテレシス サポートセンター

Tel : 0120-860-772

月～金曜日(祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 18:00

Fax : 0120-860-662

年中無休 24時間受け付け

15 調査依頼書のご記入にあたって

「調査依頼書」は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、次の点にそってご記入ください。

記入用紙に書ききれない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

● ご使用のハードウェア機種について

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例) S/N 0047744990805087 Rev A1

● お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

● ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

16 おことわり

- 本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2002 アライドテレシス株式会社

17 商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

18 マニュアルバージョン

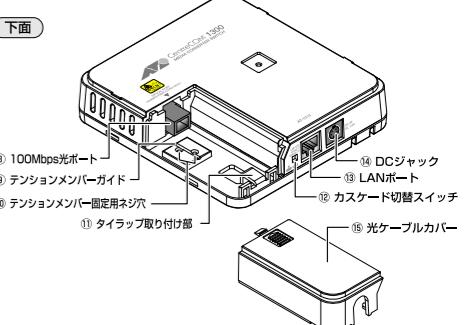
2002年12月 Rev.A 初版

CentreCOM 1300シリーズ スタンドアロン型 100M 1心 SMF メディアコンバータスイッチ (40km)

AT-1313 ユーザーマニュアル

2 梱包内容

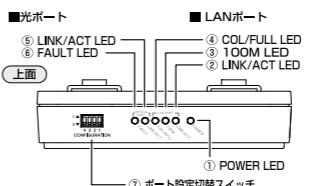
最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかどうか確認してください。
また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することが望まれますので、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。



1 特長

- 1心の光ケーブルで送受信が可能
- 最長 40km*までの接続が可能
- 接続状況が一目でわかるLEDを装備
- 別売のAT-1313-10/80とAT-13A3を使用することによって、AT-13A3からレイヤー2レベルの折り返し試験への応答が可能
- TTC技術仕様(TS-1000)に準拠

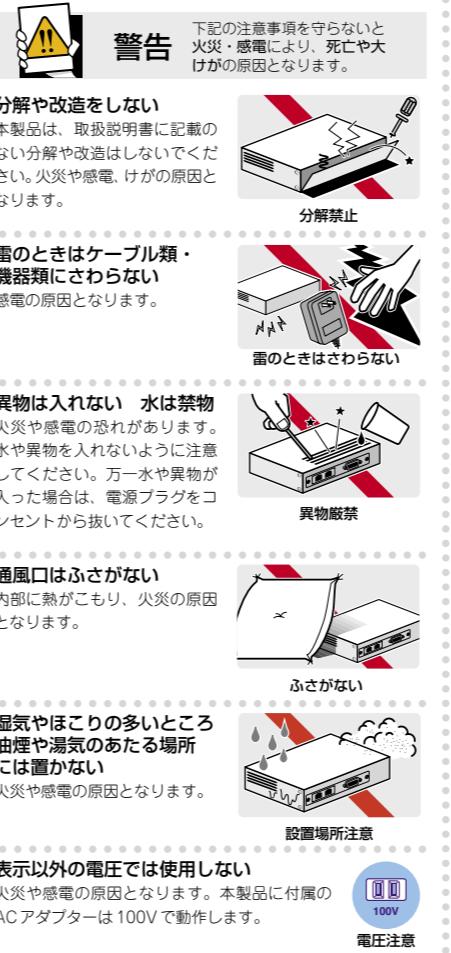
3 各部の名称と機能



光ケーブルの最長距離(40km)は、ケーブルの伝送損失により異なります。また、使用環境によりアッテネーターが必要となる場合があります。

安全のために

必ずお守りください



ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高湿になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
- 腐食性ガスの発生する場所

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因になります。



お手入れには次のものは使わないでください

- 石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)
- シンナー類禁止

① POWER LED (緑)
電源が供給されているときに点灯します。
電源が供給されていないときは消灯します。

② LINK/ACT LED (緑) (LAN ポート側)
10BASE-T/100BASE-TX ポートの状態を表示します。
リンク確立時に点灯し、パケット送受信中に点滅します。リンク未確立時に消灯します。

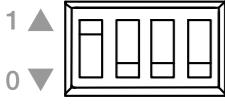
③ 100M LED (緑)
LAN ポートの通信速度を表示します。
100Mbps でのリンク確立時に点灯し、10Mbps でのリンク確立時に消灯します。

④ COL/FULL LED (緑)
LAN ポートの状態を表示します。
Full Duplex でのリンク確立時に点灯し、コリジョン発生時に点滅します。Half Duplex でのリンク確立時に消灯します。

⑤ LINK/ACT LED (緑) (光ポート側)
100Mbps 光ポートの状態を表示します。
Full Duplex でのリンク確立時に点灯し、パケット送受信中に点滅します。
リンク未確立時に消灯します。

⑥ FAULT LED (橙)
正常動作時に消灯します。以下のような通信異常が発生した場合に点灯します。
・ 100Mbps 光ポートで信号が受信できない場合
・ 100Mbps 光ポート接続先機器 (AT-1331-10/80) のアップリンクポートに障害が発生した場合
(本製品および接続先機器のエンハンスドミッシングリンク機能が共に有効の場合のみ)

⑦ ポート設定切替スイッチ (OFF 時 1▲ / ON 時 0▼)
10BASE-T/100BASE-TX ポートの通信モードを設定するためのディップスイッチです。工場出荷時は下記のような状態になっています。



CONFIGURATION

図 2 ポート設定切替スイッチ

CONFIGURATION 1 (AUTO NEGO) 0▼
オートネゴシエーション機能の ON/OFF を設定するためのスイッチです。
出荷時設定は「ON」(0▼) です。

ON (0▼)
「ON」に設定すると、接続先の機器に応じて通信モード (10Mbps/100Mbps, Half Duplex/Full Duplex) を自動検出して、最適な状態で接続します。

OFF (1▲)
「OFF」に設定すると、ポート設定切替スイッチによって通信モード (10Mbps/100Mbps, Half Duplex/Full Duplex) を手動で設定できる状態になります。

CONFIGURATION 2 (10M/100M) 0▼
ポートの通信速度 (10Mbps/100Mbps) を手動で設定するためのスイッチです。
出荷時設定は「100M」(0▼) です。

このスイッチは CONFIGURATION 1 が「OFF」(1▲) に設定されている場合のみ有効となります。

100M (0▼)
ポートの通信速度が 100Mbps 固定になります。
10M (1▲)
ポートの通信速度が 10Mbps 固定になります。

CONFIGURATION 3 (FULL/HALF) 1▲
4 3 2 1

ポートのデュプレックス (Full Duplex/Half Duplex) を手動で設定するためのスイッチです。
出荷時設定は「FULL」(0▼) です。

このスイッチは CONFIGURATION 1 が「OFF」(1▲) に設定されている場合のみ有効となります。

FULL (0▼)
ポートのデュプレックスが Full Duplex 固定になります。
HALF (1▲)
ポートのデュプレックスが Half Duplex 固定になります。

CONFIGURATION 4 (ML ON/OFF) 1▲
4 3 2 1

エンハンスドミッシングリンク機能を手動で設定するためのスイッチです。
出荷時設定は「OFF」(1▲) です。

* 本製品のエンハンスドミッシングリンク機能とは、100Mbps 光ポート側のリンクが切断された場合、LAN ポート側のリンクを強制的に切断する機能です。本製品と光ケーブル接続先機器 (AT-1331-10/80) 間のリンクが切断された場合だけでなく、光ケーブル接続先機器においてアップリンク側のリンクが切断された場合にも、本製品の LAN ポート側のリンクを強制的に切断することができます。

ON (0▼)
エンハンスドミッシングリンク機能が有効になります。

OFF (1▲)
エンハンスドミッシングリンク機能が無効になります。
100Mbps 光ポート側のリンクが切断されても、LAN ポートは通常動作を続けます。

エンハンスドミッシングリンク機能を有効にするためには、100Mbps 光ケーブルの接続先機器 (AT-1331-10/80) でも同機能が有効になるよう設定されている必要があります。

本スイッチの設定を変更した場合は、必ず AC プラグをコンセントから抜き、電源を投入し直してください。

⑧ 100Mbps 光ポート (シングルモード)
シングルモード光ケーブル (1 心) 対応ポートです。
コネクタータイプは SC 型です。
目に傷害が発生する場合がありますので、光ポートはのぞきこまないでください (CLASS1 LASER PRODUCT)。
※マルチモード光ケーブルは使用できません。

工場出荷時はダストカバーが装着されています。光ケーブルを接続していないときは、必ずコネクターにダストカバーを装着してください。

⑨ テンションメンバーガイド
外部からの光ケーブルのテンションメンバーをこの溝に沿うように誘導します。

⑩ テンションメンバー固定用ネジ穴
テンションメンバーを固定するためのネジ穴です。

⑪ タイラップ取り付け部
AT-13G1 付属のタイラップを通すための穴です。
外部からの光ケーブルを固定するのに使用します。

⑫ カスケード切替スイッチ
LAN ポートをカスケード接続用ポートとして使用するか、通常の MDI-X ポートとして使用するかを設定するためのスイッチです。先の細い棒などで押してください。

出荷時設定は「X PC」です。
= HUB
リピーター (ハブ) やスイッチとのカスケード接続用ポート (MDI) として使用します。

X PC
通常の LAN ポート (MDI-X) として使用します。

鋭利なもの (縫い針など) や通電性のあるもので、スイッチを押さないでください。

13 LAN ポート

UTP ケーブルを接続するためのコネクターです。
10BASE-T ではカテゴリ 3 以上の UTP ケーブルを、100BASE-TX ではカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを接続します。Full Duplex/Half Duplex 自動認識 (オートネゴシエーション) 機能をもち、接続された機器に応じて適切なモードで動作します。

14 DC ジャック

AC アダプターの DC プラグを接続するためのコネクターです。

15 光ケーブルカバー

光ケーブルと 100Mbps 光ポートを保護するためのカバーです。光ケーブルを通すための切り欠きがあります。

16 壁掛け金具取り付け溝

壁掛けブラケットを用いて本製品を壁面に設置するための溝です。

17 ケーブル抜け防止溝

AC アダプターのケーブルを固定するための溝です。

4 設置するまえに

● 設置にあたってのご注意

本製品の設置・使用を始める前に、必ず 1 ページの「安全のために」をよくお読みください。
設置にあたっては、次の点にご注意ください。

○ 直射日光のある場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。

○ 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。

○ 充分な換気ができるように、本体にある通気口をふさがないように設置してください。

○ テレビ、ラジオ、無線機のそばに設置しないでください。

○ メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。

○ 本製品は屋外ではご使用になれません。

○ コネクターの端子にさわらないでください。静電気を帯びた手 (体) でコネクターの端子に触ると、静電気の放電により故障の原因となります。

※マルチモード光ケーブルは使用できません。

工場出荷時はダストカバーが装着されています。光ケーブルを接続していないときは、必ずコネクターにダストカバーを装着してください。

● メカニカルスライスを用いた設置

本製品用のスライシングボックス、AT-13G1 (別売) を使用すると、メカニカルスライスを用いて光ケーブルを適切に接続・設置することができます。手順については、AT-13G1 添付のマニュアルを参照してください。

⑪ タイラップ取り付け部
AT-13G1 付属のタイラップを通すための穴です。

⑫ 電源
必ず、付属 AC アダプターを使用し、AC100V のコンセントに接続してください。

それ以外の AC アダプターやコンセントに使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

出荷時設定は「X PC」です。

= HUB
リピーター (ハブ) やスイッチとのカスケード接続用ポート (MDI) として使用します。

X PC
通常の LAN ポート (MDI-X) として使用します。

図 3 AC アダプター

5 壁への取り付け

同梱されている壁掛けブラケットを使用すると、本製品を壁などに取り付けて使用することができます。

取り付け手順は次の通りです。

- 次の点を考慮して、本製品を設置する場所と、取り付ける方向を決めてください。
- UTP ケーブルおよび AC 電源ケーブルの接続が可能であること。
- 本体上面にある、LED の表示が監視できること。

- 本製品を取り付ける位置が決まったら、壁掛けブラケットを木ネジで壁に取り付けます。

木ネジは、取り付ける壁面に適したものを使用してください。ネジ穴の直径は 3.5mm です。ネジの長さは、壁面の材質、厚さなどに合ったものを使用してください。壁掛けブラケットは、次の図に示した方向で取り付けます。

壁が柔らかくネジがたたない場合は、プラスチックアンカーを使用するなど工夫してください。

* 木ネジ (3.5mm) やプラスチックアンカーは別途ご用意ください。

6 ゴム足の取り付け

本製品を机の上などの水平な場所に置いて使用する場合は、必ず付属のゴム足を本体底面に貼り付けてください (図 6 を参照)。ゴム足は衝撃を吸収するクッションの役目をします。ゴム足の取り付けは、貼り付ける部分の汚れをよく拭き取ってから行ってください。貼り直しは接着力を著しく弱めますので、ご注意ください。

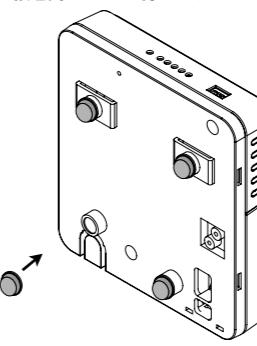


図 6 ゴム足の取り付け

● 通信モードの設定 (LAN ポート)

本製品は、オートネゴシエーション機能をサポートしています。接続先機器の通信モード (10Mbps/100Mbps・Half Duplex/Full Duplex) は、次の表の○印の組み合わせになるように設定してください。

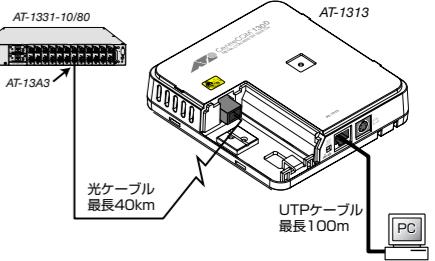
	AT-1313				
	10M Half	10M Full	100M Half	100M Full	オートネゴ
10M Half	○	—	—	—	○
10M Full	—	○	—	—	—
100M Half	—	—	○	—	○
100M Full	—	—	—	○	—
オートネゴ	○	—	○	—	○

8 ケーブル長・接続例

機器間を接続するためのすべてのケーブルが以下の長さであることを確認してください。

10BASE-T/100BASE-TX 100m 以内

100M 光ケーブル (Full Duplex) 40km 以内 *



9 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● POWER LED は点灯していますか?

○ POWER LED が点灯しない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

○ 本製品の AC アダプターの DC プラグや AC プラグが正しく接続されているかどうか確認してください。本製品には電源スイッチはついていません。本製品の起動と停止は、DC プラグを本体に接続したまま AC プラグの抜き差しによって行ってください。

● LINK/ACT LED は点灯していますか?

○ 接続先機器に電源が入っているか確認してください。また、コンピューターに取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

○ UTP ケーブル、および光ケーブルが正しく接続されているか、断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さ (UTP ケーブルは最大 100m、光ケーブルは最大 40km*) が制限を越えていないかを確認してください。

○ ストレートケーブルを使用していますか? コンピューター (MDI) と本製品 (MDI-X) を接続するには、ストレートケーブルでなくてはなりません。

○ UTP ケーブルに問題はありませんか? ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため (結線は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

* 光ケーブルの最長距離 (40km) は、ケーブルの伝送損失により異なります。また、使用環境によりアッテネーターが必要となる場合があります。

7 接続のしかた

- 光ケーブルカバーを取り外します。
- 100Mbps 光ポートのダストカバーを取り外し、光ケーブルを接続します。
- 光ケーブルカバーを再度取り付けてください。光ケーブルは、光ケーブルカバーの切り欠きを通してください。
- LAN ポートに UTP ケーブルを接続します。UTP ケーブルのプラグをカチッと音がするまで差し込み、UTP ケーブルを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。同様にして、UTP ケーブルのもう一方の端のプラグを接続先機器に接続します。

